

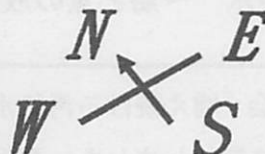
藤沢

2015年8月1日

第255号

エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議
(略称) 藤沢エコネット



主
な
記
事

- ・増え続ける海の汚染 学習会
- ・「小さき声のカノン」上映に向けて
- ・金沢市のゴミ有料化反対学習会に参加
- ・気象情報 ・放射能測定値

http://members3.jcom.home.ne.jp/fujisawa_econet/
事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳
☎/FAX 0466-87-4922

ニューヨークでのNPT行動に参加して

20年ぶりに申請したパスポートと旅慣れた知人が進めてくれた旅行グッズと多くの方々の署名を入れてニューヨークに向かいました。

旅の仲間はほとんど初対面で年齢も住む地域もバラバラなのに目的が同じということだけですぐに連帯感が生まれ、10人のグループで不慣れな地下鉄に乗り、マップを片手に移動するのも心強く、英語が出来ない不安も忘れ、楽しく充実した行動が出来ました。

国際地球平和会議では、ヒロシマ、ナガサキ以外にも核実験で被爆国、被爆2世の方からの発言に実験を行った国に対する怒りに共感し、戦い続ける姿に勇気をもらいました。あきらめてはいけない あきらめられない、その思いを再確認する内容でした。英語で署名を働きかけ最初はなかなか声が出ませんが、他の方々の積極的な行動に刺激され、日本から持ち込んだ折鶴を差しだし、署名を求めるうちに抵抗はなくなり、日本では街頭署名が苦手な私でも、多くのニューヨーカーたちと接しました。すごい！

メインの行動であるパレードでは、日本国中の各地域の方々と諸外国の方々とともにアピールしながら歩きます。フェイスペイントする方もいるし、鳴り物も響きます。まるでお祭り。私も折鶴、メッセージカードを沿道の人たちに渡しながらかき、約633万筆の署名目録をフェルーキ議長とケイン国連軍縮担当上級代表に手渡す様子を目にしたときは感動しました。ケイン代表とフェルーキ議長の声や口調は穏やかでした。

「女性の交流会」「原水禁国際シンポジウム」では諸外国の方々の思いや行動を知り、強く核兵器を無くしたいと感じました。子どもたちにワークショップを開いている団体の活動は、こどもを持つ親として印象的でした。原爆投下時に影だけを残していた方がいたことを原爆資料館で知り、その事実を子どもに伝え、子どもたちに自身の影を線でごまかし、その線を客観的に見させる。そこにいた自分が一瞬で熱で焼かれ、いなくなったらどう感じるか…です。その団体は教育機関や市議会にも働きかけ活動を広げているとのこと。日本人として何か行動しなければ…そんな思いになる発言でした。

今年は被爆70年、平和を願い核廃絶を願う、同じ思いの仲間がいることはとても心強く勇気を与えあえる。それを実感したことは大きな成果でした。

藤沢陽子



ニューヨークでパレード



鈴木市長も参加・サインをして下さいました

『増え続ける汚染水 ～海と魚の放射能汚染～』

6月27日、学習会『増え続ける汚染水 ～海と魚の放射能汚染～』に参加しました。講師の川崎健：東北大学名誉教授は、相馬の松川漁港にも学生を連れて通ったことがあり、今も東北に通っていらっしゃるとのことです。

■まず最初に核開発の歴史から。

元々潜水艦のエネルギーとして活用され始めた原子力、戦争が終わって陸に上がって発電所になった。

■震災後、それまで500Bq/kgだった食品の放射性物質の含有許容限度が100Bq/になった。

■東電福島第一原発の事故は、汚染の広がりもまだまだ終わっていない。瓦礫が米海岸に流れ着くくらいだから世界に広がる。

■しかし、魚の汚染は低くなっている。福島では4・5月に水揚げされた1574件のうち基準値越えは1件だけ。データは、検出限界値含めて水産庁サイトで誰でも見られる。県内のデータはほとんどここで見られるはず。

■魚と言っても種類によって移行の度合いが違う。底の方に住む魚は高め。淡水魚も高めだ。それは、淡水魚というのは体内の塩分を出さないために体からの水の出し入れも少ないから。海水魚は逆に、海から体に入ってくる塩分を排出するために常に水を体内に循環させている。その過程でセシウムなども排出されるので数値は低い。

■自分は海のことを専門なので、人体への影響はわからない。

■会場からの質問

Q：「海外の魚を選んで買っているが」

A：外国では、日本がまだやっていない核廃棄物の再処理を長くやっている国もある。そういう所からの魚は、測ってないのでむしろ日本より危ないかも。国内でも、福島以外では測っていない地方が多い。

■会場からは他に、千葉からの来場者が福島からの

保養親子に海で遊ばせていいものかという悩みが出ました。湘南の会からは、開放的に遊ぶことで体力をつけてセシウム排出を促すという方針が説明されましたが、同じ会のメンバーで、関東の海岸も危険なので反対だという意見も出ていました。また、北海道の会社からコンマ1以下の汚染まで測ってくれるところから食べ物を購入しているという方もありました。

■原発からの汚染水の流出・海の汚染・魚が取り込んだセシウム量・魚類による違い・人体への影響等々、それが別々のものであると科学者らしく説明下さったことがよかったです。

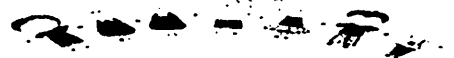
ありがとうございました。

杉山百合子

戦争する国 ゴメンです！
子どもたちの未来のために
平和な社会を手渡そう

我が国だけでなく、アジアの人々にも多大な被害をもたらしたアジア太平洋戦争に敗れてから70年。日本がその反省に立って世界に向けて誓った不戦の宣言である憲法九条が戦争立法により、足元から破壊されようとしています。

憲法の専門家からも多くの市民からも憲法違反だと指摘される戦争立法はなんとしても廃案にして、平和国家日本を次世代に引き継いでいきましょう。



ふじさわ・不戦のちかい 平和行動
2015年 8月15日(土) 16:00~18:30
藤沢駅 北口 サンパール広場

内容：市民と議員によるスピーチと
パフォーマンス

(「ふじさわ・不戦の誓い」平和行動) 呼びかけ人
斉藤隆夫)

金沢市のごみ有料化反対の 学習講演会に参加して

7月18日、金沢市で「ごみ有料化反対の学習講演会」が開かれ、講師として招聘され参加してきました。講師に呼ばれたのは、①平成5年から7年の藤沢ごみ有料化反対運動の経験、②平成7年から11年までごみ有料化裁判を最高裁まで闘った経験を話してほしいということでした。

金沢市では今年3月に、市当局からごみ減量に向け「家庭ごみの有料化を検討」したいと言う計画が出され、市主催の「ごみ原料・資源化フォーラム」やパブリックコメントが行われる中で、市民もごみ有料化問題で学習しようと言うことで今回の学習講演会がもたれたものです。金沢市の有料化の理由は、ご多分に漏れず、有料化をすれば経済的インセンティブが働きごみの分別・減量が進むだろうというものです。しかし、現地の人の話ですと金沢市の家庭ごみは減少傾向にあり、全国の中核市43市の中でも、一人当たりの排出量は8位と少ない量に抑えられており、有料化をしなくても分別を徹底してやれば減量は可能だと言っていました。

講演会では、藤沢市のごみ収集の実情を話し、最高裁までいった裁判では、「ごみ有料化(手数料を取る)にはごみの排出者が特定する個別収集でなければ、地方自治法227条に違反する」との判決が下りたことも話しました。しかし、金沢市ではそんな判決には全く無頓着で有料化の話を進めているようなので、藤沢市のごみ有料化裁判の判決文を渡し、金沢市当局に判決文の中身を確認させるよう話してきました。また、金沢市は今から50年前、当時の市長からごみ有料化が押しつけられましたが、市民が次の市長選挙でごみ有料化に反対する市長を当選させ、有料化を撤回させた経験があり、今回もその伝統をいかし、市民の力で有料化阻止の闘いを成功させてほしいと訴えてきました。

金沢市のごみ有料化問題の講習会に出て、わが藤沢市でも、このまま有料化を続けさせて良いのか、無料化若しくは有料袋の値下げの闘いが必要なのでは無いか、改めて痛感させられた次第です。

(藤沢ごみ有料化裁判原告 小林麻須男)

「小さき声のカノン」の自主上映会

監督：鎌仲ひとみ プロデューサー：小泉修吉 音楽：Shingo02の「小さき声のカノンー選択する人々」の上映準備が湘南上映実行委員会で進められています。

はじめはみんな、泣き虫なフツーのお母さんだった。福島、そしてチェルノブイリ後のベラルーシ。母たちは“希望”を選択した。

保養の実態、チェルノブイリー福島ー私たちとの絆、そして、「カノン基金」について

9月26日(土) 湘南台文化センター

①上映 10:00~12:00 トーク①12:10~

②上映 14:20~16:20 トーク②13:30~

小泉修吉氏(グループ現代会長)は記録映画界の雄、民族文化映像研究所事務局長、環境テレビトラスト日本委員会委員長として活躍、昨年、11月12日にガンで亡くなった。プロデューサーとして、病床で最後まで「小さき声のカノン」の完成を気遣っていたと奥様からうかがった。これは彼の遺作となった。

藤沢市民としては、荏原ダイオキシン事件に関心を寄せ、旧知であった彼は、藤沢エコネット主催、映画「ダイオキシンの夏」の上映会で講師を務め、エコネット会員として「エコネットニュース」を愛読してくれていた。

そんな彼の遺作を彼がこよなく愛した藤沢市民、湘南のみなさんにぜひ、観て戴きたい。

(文責宮地)

「秘密法ミュージカル」The Secret Garden

藤沢上演に向けて

私は日本15年戦争(第2次世界大戦)を社会人として経験した。それによれば戦争する国家権力はあらゆる美辞麗句を並べて敵国民と自国民にうそを言い続ける。そして国民は命令と服従の軍隊のモラルに引きづり込まれて、自己規制する。そして国策に沿わないことを言えば、非国民と呼ばれることを恐れて見ざる言わざる聞かざるになってしまう。安倍内閣はいまどんな事情があるのか「積極的平和主義」という美辞を振りかざして「特定秘密保護法」を作り、なぜ軍国主義の過去に戻ろうとするのか。その道は絶対に許すことは出来ない。戦争によって殺されるよりも戦争を殺して平和な喜びの世を作ることこそ万人の仕事ではないか。むのたけじさん(ジャーナリスト)

パンフより転載

身近になった豪雨

降水量は、単位面積に降る雨、雪などの総量を高さで測ります。何 mm という単位で示します。計測には、口径が 20 mm の円筒形の容器を使います。単位面積当たりの高さなので、雨量計で 10 mm なら、周辺一帯に全て 10 mm の雨が降っていることになります。一般に地面は傾斜しているので、低い方へ流れ、わずか 10 mm とはいえ集まると大量になります。

7月3日に藤沢で豪雨がありました。梅雨前線は本州の南海上でしたが、連日上空に冷氣が入り大気は不安定になっていました。一昨年から藤沢駅近くで気象観測をしていますが、この記録によると、時間降水量は 23.5 mm 、日降水量は 89 mm に達しました。これまでの最高記録です

(<http://citywatch-net.sakura.ne.jp/WP/?p=1796>)。

この時私は、成田付近の高速道路を車で移動中でしたが、藤沢に豪雨をもたらして東に移動したセルに丁度出くわしました。スピードを時速 40 km/h 程度に落としてワイパーを高速にしても、前が非常に見にくい状況でした。車のテールランプは見えずに路肩の白線を頼りにやっと運転しました。

西日本では、時間雨量 100 mm がしばしば発生しています。どんな感じになるのか、また河川の水面はどこまで高まるのか、全く想像ができません。皆さんは、似たような豪雨体験をお持ちでしょうか。車に雨量計を積んでいたら、是非なく測ったことでしょう。

最近では、近くで竜巻発生の予報や警報が出るようにもなりました。以前は、考えられないことです。何が起るのか、自然現象の変化に注意が必要です。

(林 陽生)

放射能測定値 (市民計測)

(HORIBA Radi) 単位 ($\mu\text{Sv/h}$)

7/14 晴 (梅雨時) 大庭のマンション

入口 0.058

5階 0.041

10階 0.038

7/10 鎌倉七里ヶ浜 0.039

7/30 こどもの国ゲート前 0.06

7/31 こどもの国プール 0.048

ECONET INFORMATION

ミュージカル「The Secret Garden」～嘘の中にある真実

8月21日 (金) 19:00 8月22日 (土) 14:00

湘南台文化センター市民シアターにて

一般 3800 大学生以下 2000 (当日券は 500 円増)

問い合わせ 090-2669-4219 久保



多様な鳥のくらし

講師 樋口広芳氏 (東大名誉教授)

8月16日 (日) 10:00-藤沢市民会館 2 展ホール

資料代 200 円 主催 藤沢探鳥クラブ 0466-25-1817

「小さき声のカノン」ドキュメンタリー映画上映

9月26日 (土) ①10:00~ ②13:30~

湘南台市民シアター

入場料 1000 学生 (中以上 500)

問い合わせ 上映実行委員会 090-7282-0376

大気汚染と気管支喘息の関係

講師 嵯峨井勝氏 (大気汚染影響評価研究チーム研究官)

8月9日 (日) 午後2~4時

神奈川県保険医協会 会議室 (横浜駅西口 TS プラザビルディング 2 階) 参加事前申し込み 参加無料

主催:神奈川県保険医協会 FAX 申し込み 045-313-2113

藤沢エコネットから

◆増え続ける汚染水～海と魚の放射能汚染 PART 2

9月23日 (水・祝) 13:30~

講師 山崎久隆さん (たんぼぼ舎)



◆会員募集=年会費・購読料→3000円

ゆうちょ銀行 (9900) 店番 (029)

当座預金 0046501 万ザエコネット

◆事務局会議 8月12日 (水) 10:00~

市民活動推進センター

藤沢市は、現場の先生方が選んで欲しくない中学校の歴史教科書に育鵬社の教科書を選んでしまった。教育委員会はなぜ先生方の意見を取り入れないのか?。教科書選定も「戦争するくにづくり」に一歩近づいたようだ。戦後 70 年の今年、暑い毎日に国会周辺、各地では毎日「アベ政治を許さない」の文字があげられている。

(H)